

羽ばたけ! こどもたち

大堀 寛人

⑧

四ツと長身で、その「肩ぐるま」は世界が違って見えるのか、こどもたちを魅了してやみません。次から次へと、肩によしのほります。それをしっかりと受け止める「優しき巨人」は、竹細工や木工の名人でもありません。時間があれば山に入り、木工遊びの材料集めに奮闘しています。

虫どうやって飼うの?」。そんなこどもの質問に、丁寧に答えてあげています。最年長のI先生(46)は優しい「お父さん」。山登りの時は、「またぎ」のような身のこなしで岩場をひよいひよいと移動し、安全に気を配ります。S先生(25)はギターが得意。こどもたちの歌の伴奏ならお任せです。

全く違います。幼児期のこどもたちが、たくましい男性の先生に触れ、女性の先生とは異なる「愛情表現」に出会うことは、自然であり、豊かなことです。

男の子も、女の子も、男性の先生と一緒に体を使ったダイナミックな外遊びを楽しみ、遊びの幅を広げていきます。木工に熱中する子、昆虫探しに没頭する子、

「ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ」では、保育に携わる先生九人のうち、五人が男性。半数以上を占めます。年齢も二十一四十歳代と幅広く、それぞれが個性的。全身でこどもたちとのスキンシップに励むので、園では大人気

男のせんせい

遊び教える「ガキ大将」

先生が、おおらかに見守り、励まし、

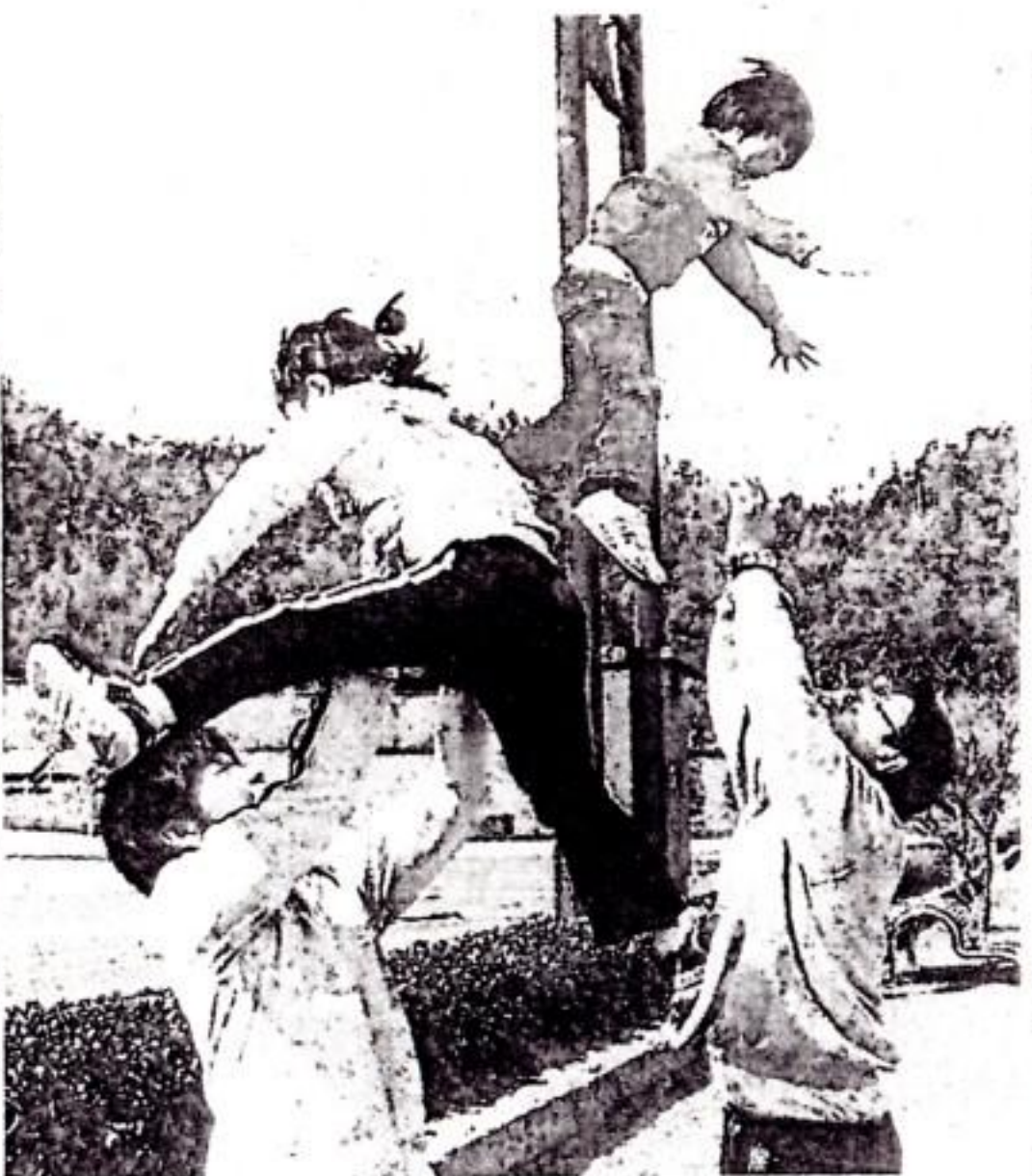
「ちゅーりっぷのガリバ」す。もう一つの得意分野は「ことT先生(34)。一八「虫と花」。「先生、この

あこがれのまなざしで見つめます。

認めることで、こどもたちの旺盛な意欲がはぐくまれていくのです。

最近では男性保育士が増えているとはいえ、まだ少数派。でも男性と女性では、こどもへの接し方、見方は

(ぶれいすくーる・ちゅーりっぷ)広島市西区II園(長)



「先生、高い高いしてー!」。ダイナミックに遊んでくれる男性の先生は、こどもたちに大人気(園提供)